
吸血姫と不気味な召使

屍斗[°]

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

吸血姫と不気味な召使

【Zコード】

Z5798F

【作者名】

屍斗、

【あらすじ】

とある国の王国の姫、彼女はシナリオどりに14歳まで生きてきた性格や口調・・・すべてシナリオどりに、本当の自分を隠しだが、シナリオ最後の夜に不気味な召使と出会つ・・・その出会いが・・・永遠の孤独への導きであることを知らずに・・・

ラスト・ナイト（龍巣鬼）

多少グロイ発言などがあると思われますので・・（※分）

ラスト・ナイト

とある王国の姫・・

彼女は国が作り上げたシナリオのためだけに生まれてきた

このシナリオは誰にも止められない・・・止められなかつた・・

国を滅ぼし、姫を殺す・・・このシナリオを誰も・・・

・・だが、シナリオの最後の日に・・ほんの少し、シナリオがそれ
た・・

何故か？それは・・姫がとある召使に出会つたから・・・

それは・・シナリオ最終日・・10月31日PM11時のこと・・・

はじめて、あいつに会つたとき・・不思議な感じがした・・どこか
懐かしいような・・そんな感じが

「初めてまして、ルイ・エヴィウ様・・いや、姫」

「・・貴方は誰？」

姫、ルイの前に一人の男が現われる、髪は金髪、瞳は血のよつて・・
真つ赤な赤
まるで・・この世の人物とは思えないほどの不気味なオーラも漂つ
ていた、

「本日より姫の召使になりました・・嗚呼・・召はあります、姫がお好きにお付けください」

「・・そ、・・じやあ、今はナナシとでも呼ばせてもらひわ」
周りのメイド達がざわめくなか・・姫はまったく動じずに言つた
(・・何だか・・懐かしいよーな・・そんな感じがする・・)

今思えば・・俺の感は当たつていた・・

「はい、姫へへ・・・・嗚呼、俺の前では普通に素で話してください
ね、姫へへ」

まるで・・すべて見透かせるのかのよつて言つて・・不気味にナナ
シが微笑む・・・・

「・・・これが普通の私ですわよ?」

姫が少し慌てたかのよつて言つて、

「・・・別に隠さなくともいいのですよ?・・・それともシナリオの
ためですか?」

・・この男、ナナシもシナリオのことは知つていたようだ

「・・・違いますわ」

「・・・そういえば、貴方のせいでシナリオからそれてしまいまし
たわ・・」

否定し・・そして、小声で姫が言つ

この時、俺は何故か、あいつがシナリオのことを知つているか、疑
間に思わなかつた

「そうですか、それは失礼しましたへへ・・鳴呼、お茶でもお持ちしますね」

ナナシは姫が小声で言つたことを聞えなかつたかのようふるまい、召使らしく、お茶をもてなそとしに・・

• • • • •

ナナシが席をはずし・・・しばらくたつたあと
姫は無言になつた・・・そして少し悲しげな表情をし、時計を見た
時計の針はPM11時38分をさしていた、

(・・最後まで・・残り22分・・)

そんなことを思つてみると、後ろに『又配を感じた・・・

「誰？・・・・・シナリオでは・・まだ時間が・・・

「シナリオは変わった、お前にはやつせと死んでもいい。・その前にあの悪魔をころさねえとな」

男が言う・・

(悪魔？？、 何だそれ ・・・ ? ? ・・・)

姫は戸惑っていた。そして、

「……姫、お茶をお持ちいたしました……よ？……ねや？」

姐が戻^リていた時…ナナシが戻^リてきた

・・・やつと悪魔君の登場・・・さてと・・・ファイナーレと行きます

・・・まだ姫は状況が理解できていないのか・・ハハツ

笑い・・そして、男が刀を抜く・・そして、素早い動きでナナシの背後に回る

「・・間に合わない・・姫は逃げてくださいね？^ ^」

武器を何一つもたない、ナナシは圧倒的に不利

・・そして、もう、自分が滅ぶことを覚悟したかのように姫に言つ
けた・・いや、切り裂いた

・・・そして、ナナシがいい終えた瞬間に・・男はナナシを切りつ

・・・だが・・

そして・・血肉が舞う・・・

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連＝横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n5798f/>

吸血姫と不気味な召使

2010年10月8日11時24分発行